



森とアースへの  
**eco**  
プロジェクト

森とアースへのECO-プロジェクト  
令和7年度 実施報告書



天星製油株式会社

全国オイルリサイクル協同組合  
森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム

## 廃油リサイクルから森づくりへ

地球は今、かつてないほどの急激な自然環境の変化に直面しています。ハリケーン、局所的な暴風雨、気温や海水温の異常な上昇、動植物類の生息域の変化、森林面積の減少、海水面の上昇。地球温暖化は間違いないと思われませんが、森林の伐採、生物の乱獲、化学物質による環境汚染など、人間の経済活動による影響についても、何をしなければならないかを私たちは真剣に考え行動しなければなりません。

弊社は、廃油リサイクルの専門家として約60年間、資源の有効利用と環境保全に尽くしてまいりました。廃油をリサイクルして燃料化することで、トータルでの二酸化炭素の排出を削減していることに脚光を浴びるようになり、私たちの価値が再認識されるようになってきたことは光栄に思うと同時に時代の変化を感じるどころです。

本プロジェクト「森とアースへのECO-プロジェクト」で社会貢献の一環として平成30年度より参加し、弊社の廃油リサイクル事業の収益の一部を、事務局を担う公益財団法人北海道環境財団に寄付をすることで、全国各地の森づくりを支援してまいりました。自然環境の最上流に対する働きかけにより、豊かな森林の涵養、林業の機能維持が、木々による二酸化炭素の吸収のみならず、森林、河川から海につながる生態系の維持、国土の保全につながることに、ささやかながら協力させていただきたいと考えています。また、脱炭素社会実現に向けた国内外の動きを見据え、森づくり等を通して生じる温室効果ガス吸収量を活用したカーボン・オフセットを実施して、弊社事業活動の脱炭素化にも努めました。

関係各位におかれましても、何卒、ご理解いただくとともに、活動の輪が広がっていくことを祈念しております。

令和8年3月吉日

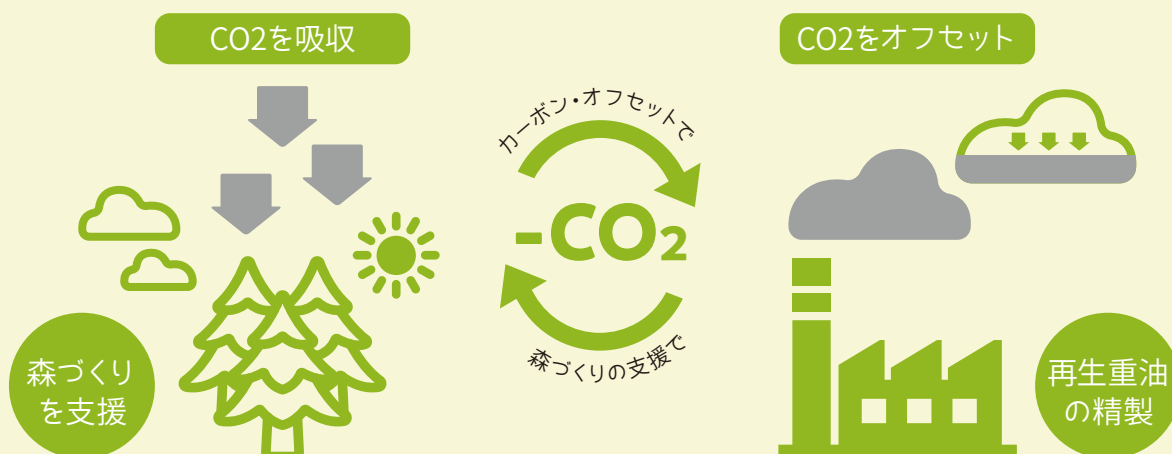
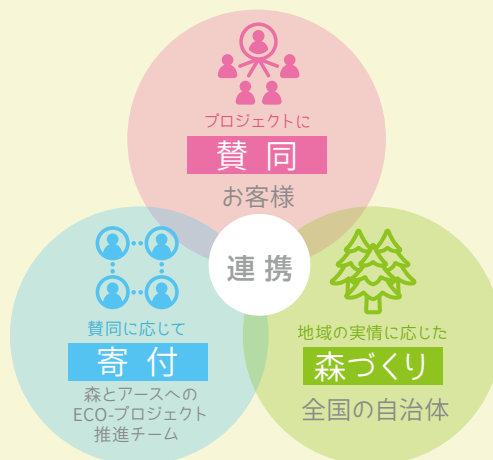
天星製油株式会社  
代表取締役 鈴木 宏政

## 森とアースへのECO-プロジェクト概要

廃油の適正処理とリサイクル事業に取り組む企業で構成する「全国オイルリサイクル協同組合 森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム」は、日本各地の森づくりと地球温暖化防止に資する社会貢献事業として、平成28年から「森とアースへのECO-プロジェクト」を展開しています。

本プロジェクトを「お客様とともに取り組む社会貢献活動」として位置づけ、お客様のご賛同のもと、各社が廃油リサイクル事業の収益の一部を拠出し、脱炭素社会の実現に向けて先進的に取り組む全国各地の自治体と連携して森林保全活動を実施しました。また、森づくりの結果等から生じるCO<sub>2</sub>吸収量を活用して廃油リサイクル事業等において排出されるCO<sub>2</sub>のオフセットにも取り組みました。

2050年に向けた脱炭素社会の実現を目指して、廃油リサイクル等を通じた循環型社会構築への貢献に加えて、本プロジェクトを通じた森林保全活動の支援や、カーボン・オフセットへの取り組みにより、脱炭素社会構築への貢献に努めてまいります。



日本の森づくりと脱炭素社会の構築に貢献



# のしろし 秋田県能代市

本市は秋田県の北西部に位置し、北に白神山地、東に奥羽山脈があり、市の中央を米代川が流れ日本海に注いでいます。平成18年3月に、旧能代市と旧二ツ井町の合併により誕生した人口約5万人の市です。東西約30km、南北約35km、総面積は427km<sup>2</sup>で、秋田県の面積の3.7%を占めています。

豊かな自然に恵まれ、日本海に面する海岸一帯には、面積約760haの海岸砂防林「風の松原」があり、生活環境を保全し、市民からも親しまれる憩いの場となっています。また、日本一高い天然秋田杉を含む仁鮎水沢スギ希少個体群保護林などもあります。能代市は、古くから天然秋田杉の産地として知られており、木材の加工事業者の数や加工技術の高さから、かつて「東洋一の木都」と呼ばれ、古くから林業・木材産業と共に発展してきた地域です。その歴史は今も根付いており、木材産業や木材に関する施設・機関等も多くあります。

市の将来像に掲げている「わのまち能代」には、人と人との“和”、地域資源で活力を生む“環”、未来へつなぐ安心の“輪”、これらの思いを込めています。また、まちづくりの基本理念に「幸福共創」を掲げています。この言葉には、“こころ”“からだ”“もの”の3つの豊かさを実感できるふるさと能代を、市民の皆様とともに目指していきたいという思いが込められています。



## 秋田県能代市の森づくり



本市の森林面積は約2万5千haとなっており総土地面積の約6割を占めています。また、民有林約1万6千haのうち、約1万haは杉人工林で、そのほとんどが原木生産に適した林分であり、成熟した杉資源の宝庫となっています。

一方で、小規模林家が多く、森林所有者の高齢化や地域の過疎化に伴い、所有者不明や森林管理が十分に行われていないなどの課題も抱えています。そのため、森林環境譲与税を活用し、森林の所有者や境界の調査を進めるとともに、意欲ある森林所有者・森林組合・林業事業者への施業等の委託による森林の集約化と施業の共同化を推進しています。また、林業の生産基盤を強化するため、林業専用道等の路網整備も積極的に進めています。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



- 【施業内容】 市有林の整備(枝打)
- 【場 所】 能代市母体地区
- 【面 積】 5.45ha
- 【施業時期】 令和7年9月~11月



秋田県能代市長 齊藤 滋宣

## 能代市長からのメッセージ

この度は、能代市の森林施策に対し、「森とアースへのECOプロジェクト」によりますご寄付を賜りまして、誠にありがとうございます。皆様方の温かいご支援に心より厚くお礼申し上げます。

近年、地球環境や社会・経済への危機意識を背景として、持続可能な開発目標(SDGs)への関心が高まり、森林・林業・木材利用に関わる活動に注目が集まっています。本市においても、脱炭素社会の達成に貢献すべく、森林の持つ多面的な機能の発揮とともに、地域の林業・木材産業の活性化・振興につながるよう、さらなる豊かな森づくりに取り組んでまいります。



みなみ そうま し

# 福島県南相馬市

南相馬市は、福島県浜通り地方の北部に位置し、温暖な気候と山・川・海の豊かな自然に恵まれたまちです。平成18年1月、1市2町の合併により誕生し、面積398.58平方キロメートルに約59,000人(令和2年国勢調査結果)が暮らしています。

毎年5月には、一千有余年の歴史と伝統を誇る祭「相馬野馬追」の舞台となります。国の重要無形民俗文化財に指定されるこの祭は、平将門が下総国(千葉県北西部)に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられています。甲冑に身を固めた約400騎もの騎馬武者が一堂に集結する様は、まさに現代に甦る戦国絵巻そのものです。また、一年を通じてサーフィンに適した波に恵まれた海岸は、日本有数のサーフスポットとして知られています。全日本サーフィン選手権大会や世界プロサーフィン大会などの開催地にも選ばれ、多くのサーファーに親しまれています。

15年前、当市は東日本大震災と原発事故により大きな被害を受けました。その後も相次ぐ自然災害やコロナ禍など様々な困難に見舞われましたが、そのたびに寄せられた多くのご支援により復興に向けた歩みを一歩ずつ進めています。そうした中、未来のまちの姿として目標に掲げているのが、「100年のまちづくり～家族や友人とともに暮らすまち～」です。子や孫たちが故郷に誇りを持ち、この地で何代も営みが続く、そんなまちづくりに取り組んでいます。



## 福島県南相馬市の森づくり



南相馬市は、面積の54.4%の森林を有しています。かつてはこの豊かな森林資源を生かして林業が盛んでしたが、木材需要の低迷や原発事故の影響などを背景に、現在は著しく停滞している状況です。

また、震災前の沿岸部は、青々とした松林が続く美しい風景が広がっていましたが、巨大津波がすべてを押し流し、多くの集落が甚大な被害を受けました。

市では、新たな海岸防災林を造成するため、毎年6月に鎮魂復興市民植樹祭を行い、瓦礫を活用した高盛り土に地域在来の常緑広葉樹を植林しています。令和8年度で第14回を迎えるこの植樹祭には、毎年全国各地からの多くの皆様にご参加いただき、未来へつながる鎮守の森をつくる活動を行っております。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



- 【施業内容】 第14回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭
- 【場 所】 南相馬市鹿島区烏崎地内
- 【面 積】 0.3ha
- 【施業時期】 令和8年6月



福島県南相馬市長 門馬 和夫

## 南相馬市長からのメッセージ

このたび「第14回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」に対し、「森とアースへのECO-プロジェクト」のご支援を賜りますこと、心より感謝申し上げます。

この植樹祭は、津波犠牲者の慰霊、震災の記憶や教訓を継承する場として開催しております。地域在来の広葉樹を密植し、自然に近い状態を維持することによって、自然災害や火災などから市民の生命を守る森づくりを目指すもので、これまでに2万2,200人の方々の手で合計22万9,000本が植栽されました。こうした活動を通じ、豊かな緑を後世へと繋げてまいりますので、引き続きお力添えいただきますようお願いいたします。



## いち はら し 千葉県市原市

市原市は、千葉県のほぼ中央に位置し、都心から50km圏内、東京駅、羽田・成田両空港まで約60分という立地にあります。総面積は36,817ha、東京湾から房総丘陵にかけて、東西約22km、南北約36kmと、県内では最も広い市域を有し、エリアによって見せる表情が異なるのが魅力の一つです。市北部では石油化学工業をはじめとする大手企業が多数進出し、コンビナート群が形成・発展しており、「工場夜景」を楽しめる観光資源にもなっています。また、市南部には養老渓谷に代表される水と緑豊かな里山の風景が広がり、この里山を背景に小湊鐵道が走る姿は多くの人々を惹きつけています。



さらに2020年1月、養老川流域田淵の地層が地磁気逆転現象を最もよく観察できる場所として、国際的な基準地として認定されたことで、約77万年前から12万年前の時代に「チバニアン」(千葉時代)という名称がつけられたことで注目を集めており、見学環境の整備を行っております。

市原市には32クラブ33か所のゴルフ場があり、その数は日本一となっており、年間約177万人の方にお越しいただいています。市では、ゴルフ場にお越しになる方向けにゴルフをもっと楽しんでいただける企画や、市原の子どもたち向けに市内全小学校でのゴルフ体験やトップジュニア輩出のための育成環境の整備、市原市民であることのメリットの創出、ゴルフをされない方にもゴルフ場をお楽しみいただけるメニューなど、「ゴルフの街いちはら」ならではの様々な事業に取り組んでいます。

## 千葉県市原市の森づくり



市原市は総面積36,817haのうち約34%を森林地域が占めており、そのうち約3,500haが人工林となっています。

千葉県ではサンプスギという良質な性質をもつ品種が有名で、市原市においてもサンプスギの林が数多くありますが、「溝腐病」という幹を腐らせる病気による被害が広がっており、木材の価値が著しく低下しています。また、林家の高齢化や担い手不足などの課題と相まって、林業経営は一段と厳しい状況にあり、手入れの行き届かない森林が増えております。

このような本市の現状を踏まえ、森林の多面的機能を維持するため、令和7年度に見直しを行った「市原市森林経営管理計画(実施方針)」に則り、森林環境譲与税を活用した森林整備を実施することで、地域全体の将来を見据えた林業の成長産業化を進めております。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 民有林の整備(特殊地拵え、植栽)

【場 所】 市原市金剛地

【面 積】 約2ha

【施業時期】 令和7年11月～令和8年3月



千葉県市原市長 小出 譲治

## 市原市長からのメッセージ

市原市の森林施策に対しご支援をいただき、誠にありがとうございます。

森林は、環境保全や防災、水の浄化など、様々な場面で私たちの暮らしを支えており、この機能を活かすためには、森林の計画的な伐採や人材育成等の森林整備を促進する必要があります。また、若い世代にも森林の大切さについて知ってもらうため、千葉県産の木材を使ったおもちゃや木工作体験を行う、市内初の木育イベントを令和8年1月に開催し、大盛況となりました。

今後も様々な施策を進めて参りますので、市原市をよろしく願い申し上げます。



みなみ のわ むら

## 長野県南箕輪村

南箕輪村は、西に中央アルプス連峰の経ヶ岳・駒ヶ岳、東に南アルプス連峰の仙丈ヶ岳・東駒ヶ岳を望み、伊那谷の中で最も広い平地の中心に位置しています。村の面積は40.99㎢ですが、そのほぼ半分は飛び地の山林であり、日本200名山に選ばれた経ヶ岳を有しています。

緑濃い田園と畑作地帯が広がり、緑豊かな自然環境と暮らしやすい気候風土のもと、農・工・商・住宅地が調和のとれた発展を続けています。また、村内には保育園、小学校、中学校、高等学校、短期大学校、国立の信州大学までの教育機関があり、全国的に見ても際立って充実しており、非常に恵まれた環境となっています。

村は、明治8年に誕生し、令和7年2月18日に村政150周年を迎えました。南箕輪村の西部に位置する大芝高原は、100年以上前から先人たちが後世のために森を育て、守ってきた大切な場所であり、現在では全国屈指のアカマツの平地林となっています。森林内にはセラピーロードが整備され、地域の方が日常的にウォーキング等に利用しています。しかしながら、松枯れ被害の拡大により、倒木や落枝による被害の発生が危惧される状況となりました。そこで、令和6年12月に大芝高原森林づくり実施計画を策定し、新たな森林づくりをスタートしました。50年後、南箕輪村が200周年を迎える時も住民の皆さんが幸せでいられる南箕輪村であるように、「人と人」、「人と自然」がつながる村を目指していきます。



## 長野県南箕輪村の森づくり



大芝高原は、南箕輪村の村木であるアカマツが壮観を成す全国でも稀な平地林であり、多くの人たちが日常的にウォーキング等をしており、保健・レクリエーションとして利用されている特徴があります。

松枯れ被害の拡大が利用者の安心・安全に関わる問題となっているため、村民主体の検討により「大芝高原森林づくり実施計画」を策定しました。利用者のみなさんの安全確保を最優先として、村民や利用者のニーズに合った森づくりに取り組んでいます。また、100年以上前から先人たちの努力によって育てられてきたアカマツは保育園の園舎や中学校の学習机天板、木製おもちゃ、その他に食用活性炭として活用した「ブラメシ」等、様々なカタチに変えて利用されています。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



- 【施業内容】 アカマツの主伐
- 【場 所】 南箕輪村 大芝高原
- 【面 積】 4.3ha
- 【施業時期】 令和7年12月～令和8年2月



長野県南箕輪村長 藤城 栄文

## 南箕輪村長からのメッセージ

このたびは南箕輪村の森林施策に対し、「森とアースへのECO-プロジェクト」によりご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当村では、村民憩いの場であり、保健的機能や文化的機能、教育的機能を有する「大芝高原」の新たな森林づくりに取り組んでおります。100年以上前から先人たちが育て、守ってきた大切な大芝高原の森林を、未来の子どもたちへつないでいくために活用させていただきます。



いけ だ ちょう

## 福井県池田町

福井県池田町は県南東部、岐阜県との県境に位置し、足羽川最上流域の広大な森林に抱かれた自然豊かな町です。面積は194.65km<sup>2</sup>と広く、その約9割が森林を占める中山間地域で、特別豪雪地帯でもあります。2025年12月時点の推計人口は2,061人、高齢化率は47%を超え、少子高齢化が進む小さな農村ですが、自然と共生する暮らしが今も息づいています。



主産業の農業は水稻が中心で、町独自の認定制度を設けた地域資源循環型農業を推進しており、日本の現風景が残る山村です。また、750年以上継承されている国の重要無形民俗文化財「水海の田楽能舞」をはじめ、歴史と文化が深く根付いていることも池田町の大きな魅力です。豊かな自然、人の温かさ、そして文化が調和し、個性豊かな農山村の姿を形成しています。

現在、町では、「木望の森づくり100年プロジェクト（100年の後も生きている山、活かされている木、人が集う森）」をはじめ、国の「脱炭素先行地域」の指定を受け、地域の自然を活かした再生可能エネルギーの導入を進めています。小水力発電や太陽光発電の取り組みを本格化させるとともに、豊富な森林資源を活用した木質バイオマスチップ材による熱供給体制の構築にも着手し、化石燃料依存からの脱却とエネルギーの地産地消を目指しています。町と住民が一体となり、これまで培ってきた池田町らしい農村の魅力を守りながら、脱炭素社会に向けた新たなまちづくりへと進化を図っています。

## 福井県池田町の森づくり



町の森林の約9割を占めるスギ人工林は、戦後の拡大造林期に植えられたもので、80年生超の森林が約4,920haに及び豊富な資源を抱えています。しかし、山主の高齢化や後継者不足、林業従事者の減少、木材価格の低迷により伐採量は年間約50haにとどまり、手入れ不足の森林が増えていることが大きな課題です。

そこで町は「木望の森100年プロジェクト」を掲げ、森林条件に応じた森づくりや町産材の活用、ウッドスポーツ振興を進めています。さらに脱炭素化事業の一つとして、曲がり材や獣害木を木質バイオマスチップ材の原料として活用し、森林資源の有効利用と化石燃料に替わるエネルギー供給体制の構築にも取り組んでいます。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



- 【施業内容】 支障樹木の伐採
- 【場 所】 池田町池田・山田地区
- 【面 積】 1ha
- 【施業時期】 令和7年9月～令和8年3月



福井県池田町長 杉本 博文

## 池田町長からのメッセージ

当町の森林施策へのご理解と「森とアースへのECOプロジェクト」のご支援に深く感謝申し上げます。

町内の豊かな森林は先人の努力により守られ、引き継がれ、今我々はその森林の恩恵を受けてきました。しかし現代では森林に対する価値や関心が薄れ、森林管理を怠った結果、災害の危機感や気象変動による不安を感じています。

そこで私たちは森林の価値と機能を見直し、100年先へ引き継ぐ「木望の森づくり100年プロジェクト」を推進しています。さらに国の脱炭素先行地域指定を受け、再生可能エネルギーの活用や木質バイオマス材による熱供給の準備も進行中です。今後も町と住民が一丸となり、100年後も生きている山、活かされている木、人が集う森をテーマに誇れる池田町を目指し、森林施策に取り組んでまいります。

今後も福井県池田町をよろしくご支援をお願い申し上げます。



ひがし ひろしま し

# 広島県東広島市

東広島市は広島県の中央に位置し、瀬戸内沿岸から中山間部まで広がる自然豊かな地域です。昭和49年に西条・八本松・志和・高屋の4町が合併して誕生し、平成17年には黒瀬・福富・豊栄・河内・安芸津の5町も合併し現在の形となりました。令和6年には市制施行50周年を迎え、この間、官民の学術研究機関の集積や企業の立地も進むなど、全国でもその成長が注目される都市となっています。



東広島市の特産品として最も知名度が高いのは日本酒です。日本三大酒処の一つに数えられる「西条」や、広島杜氏のふるさととして知られる「安芸津」など、市内各地では現在でも10もの酒蔵が個性ある酒造りを続けています。また、毎年10月には国内最大級の日本酒イベント「酒まつり」が開催され、20万人以上の方が訪れる、まさに「日本酒のまち」です。

また、学術研究都市としてのまちづくりも本市の大きな特徴です。広島大学をはじめとする4つの大学の立地や、酒類総合研究所など、官民の研究機関が集積しており、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～」の実現に向けた様々な取組みを進めています。具体的には大学や市、企業などが連携してまちづくりを行う「Town&Gown構想」によって、研究成果の社会実装や、イノベーション創出に向けた取組みを進めています。

## 広島県東広島市の森づくり



東広島市の森林面積は39,622ha(市域の約62%)であり、このうちスギ・ヒノキの人工林は約7%といわゆる林業地帯ではありません。多くはアカマツを中心とした天然林で、かつては、マツタケの産出のほか、建築用材や薪、炭を供給する豊かな里山林でした。

しかし、現在は、松枯れの拡大に伴うマツタケの減少や近代化によるライフスタイルの変化から、市民生活と森林の関りが薄くなったことにより適切な管理が行われなくなり、荒廃が進行し、里山の保全・整備の必要性が高まっている状況です。

こうした背景から、本市では令和4年度に「東広島市森林管理マスタープラン」を策定し、豊かな自然環境を守りつつ、持続可能な森林の管理と活用を進めるために、「価値・防災・継承」の3つの視点で各種施策に取り組んでいます。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



- 【施業内容】 危険木・倒木等の処理
- 【場 所】 クロボヤ峡(東広島市福富町)
- 【面 積】 1.4ha
- 【施業時期】 令和8年2月~3月



広島県東広島市長 高垣 廣徳

## 出雲市長からのメッセージ

この度、「森とアースへのECO-プロジェクト」からご寄附を賜り、心より感謝申し上げます。

クロボヤ峡は、東広島市福富町にあるホンシャクナゲの群生地で、毎年5月上旬から6月上旬にかけて一般開放し、その美しさを楽しんでいただいていたのですが、昨年の積雪により倒木が発生し、一般開放への影響が危惧されました。

そうした中、今回のご支援によりクロボヤ峡の保全に取り組むことができたことを重ねて感謝申し上げますとともに、引き続き自然と共生するまちづくりに取り組んでまいります。



さ せ ぼ し

# 長崎県佐世保市

本市は、長崎県北部のほぼ中央に位置し、面積426㎢で東は国見山系を境にして佐賀県及び東彼杵郡波佐見町、北は松浦市、平戸市に接し、南は弘法岳山系を境にして川棚町と接しています。中央部には烏帽子岳、弓張岳、隠居岳などがあり、西部には九十九島も控え、西海国立公園の名所として名高い景勝地となっています。

地理的歴史的特徴として、国内有数の良港である佐世保湾を中心として古くから造船や軍港の町として栄えており、現在も自衛隊や米軍の基地があることから、多くの自衛隊及び米軍関係者の方々が居住されています。さらに近年はクルーズ船も積極的に誘致しており、毎年多くの海外観光客が来市されています。

一方で、著しい人口減少への対策が最重要課題となっており、子育て支援・教育の充実を総合計画の最上位に位置づけ、重点的に取り組んでおります。また、文化・スポーツの力で自由で心豊かな市民生活の実現を目指す「文化スポーツの政策」やまちの魅力を高め、若者の定着、定住人口の増加を図る「魅力ある持続可能な地域づくり」を新たな政策として位置づけました。これらの取り組みに加えて、本市が持つ多様な地域資源を活用し、地域への誇りと愛着の醸成や、市の魅力度・認知度向上等を図ることで、市民の皆様からは「住み続けたい」、市外の皆様からは「住んでみたい」「訪れてみたい」と感じてもらえるような「選ばれるまちSASEBO」の実現を目指してまいります。



## 長崎県佐世保市の森づくり



本市の森林面積は、20,778haで、森林率は約49%となっています。このうち民有林面積が19,565haで、うちスギヒノキ等の人工林が8,121haとなっており、民有林における人工林率は、約41%となっています。

本市では、水源涵養や国土保全、風致維持、木材生産等森林の持つ多面的機能に配慮したゾーニングを行い、森林資源の維持向上を目指すとともに、個人有林の整備については国県の補助に加え、市単独で追加の補助を実施していますが、林業の採算性の低下や後継者不足により、現状森林の多面的機能の維持が危ぶまれている状況です。

今後、森林の持つ多面的機能の維持向上と森林資源の利活用を図るため、現在の森林整備や担い手に対する補助及び資金貸付に加え、バイオマス燃料の利用についての検討やグリーンカーボンの導入を進めていきます。

### 森とアースへのECO-プロジェクト 施業実績



【施業内容】 下刈

【場 所】 佐世保市小佐々町矢岳

【面 積】 5.71ha

【施業時期】 令和7年8月～9月



長崎県佐世保市長 宮島 大典

## 佐世保市長からのメッセージ

この度は、佐世保市の森林施策に対し、「森とアースへのECOプロジェクト」によりますご支援を賜り、誠にありがとうございます。

近年、大雨による災害が毎年のように発生していることや、二酸化炭素排出量増大に伴う地球温暖化が進んでいることから、災害の防止や二酸化炭素の吸収といった森林の持つ多面的機能に市民からの期待が高まっております。

本市としましても、森林が持つ多くの機能の維持向上を図るため、いただいた寄付金等を活用しながら市内の森林の適切な整備を進めてまいります。今後とも佐世保市の森林施策についてご協力をいただきますようお願い申し上げます。

# 天星製油株式会社

**所在地** 静岡県浜松市浜名区新原3833-1

**TEL** 053-586-9911

**FAX** 053-586-9915

**URL** <https://www.tenboshi.com/>

## 令和7年度 全国オイルリサイクル協同組合

### 森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム 構成員

環境開発工業株式会社、日重環境株式会社、木幡興業株式会社  
株式会社TOAシブル、株式会社和光サービス、株式会社朝田商会  
株式会社太陽油化、株式会社パンオイルサービス、岐阜鉱油株式会社  
天星製油株式会社、岩谷化学工業株式会社、株式会社サンエム、山陰興業株式会社  
株式会社フチガミ、有限会社森商会、全国オイルリサイクル協同組合

本プロジェクトの推進を通して、  
持続可能な開発目標(SDGs)への貢献にも寄与しています。



### 森とアースへのECO-プロジェクト事務局

公益財団法人北海道環境財団  
北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階  
TEL:011-218-7811 FAX:011-218-7812

プロジェクトHP



<https://www.heco-spc.or.jp/mori-earth/>